

目 次

警防編

火災

・火災の概要	1
・火災件数の推移	1
・火災発生状況前年との比較	2
・月別火災発生状況	3
・出火原因	4
・初期消火状況	4
・原因別出火件数及び損害額	5

救急

・救急体制	6
・救急医療体制	6
・救急の概要	7
・救急出動状況	8
・救急出動状況前年との比較	9
・月別救急出動件数	10
・時間別救急出動件数	11
・急病にかかる疾病分類別搬送人員	11
・現場到着所要時間別出動件数	12
・病院収容所要時間別搬送人員状況	12
・応急処置等の実施状況	13
・救急講習会実施状況	14

救助

・救助体制	15
・救助の概要	15
・出動件数等の推移	15
・救助出動状況前年との比較	16
・月別救助出動件数	16
・救助種別及び傷病程度	17
・発生場所別出動件数	17

管制

・ 消防通信系統図	1 8
・ 指令センター	1 9
・ 指令電送装置・消防職員／消防団指令システム	1 9
・ 兵庫県災害対応総合情報ネットワークシステム	1 9
・ 兵庫衛星通信ネットワークシステム	1 9
・ 兵庫県広域災害・救急医療情報システム	1 9
・ Net 1 1 9 緊急通報システム	1 9
・ 緊急通報システム	1 9
・ 聴覚障がい者FAX	1 9
・ 非常通報電話	1 9
・ 緊急情報ネットワークシステム	1 9

通信・気象

・ 1 1 9 番受付件数	2 0
・ 気象状況	2 1

施設・装備

・ 消防水利の現況	2 2
・ 消防車両一覧	2 2
・ 主な消防機械器具の状況	2 3

水防

・ 事前調査	2 4
・ 活動	2 4

火 災

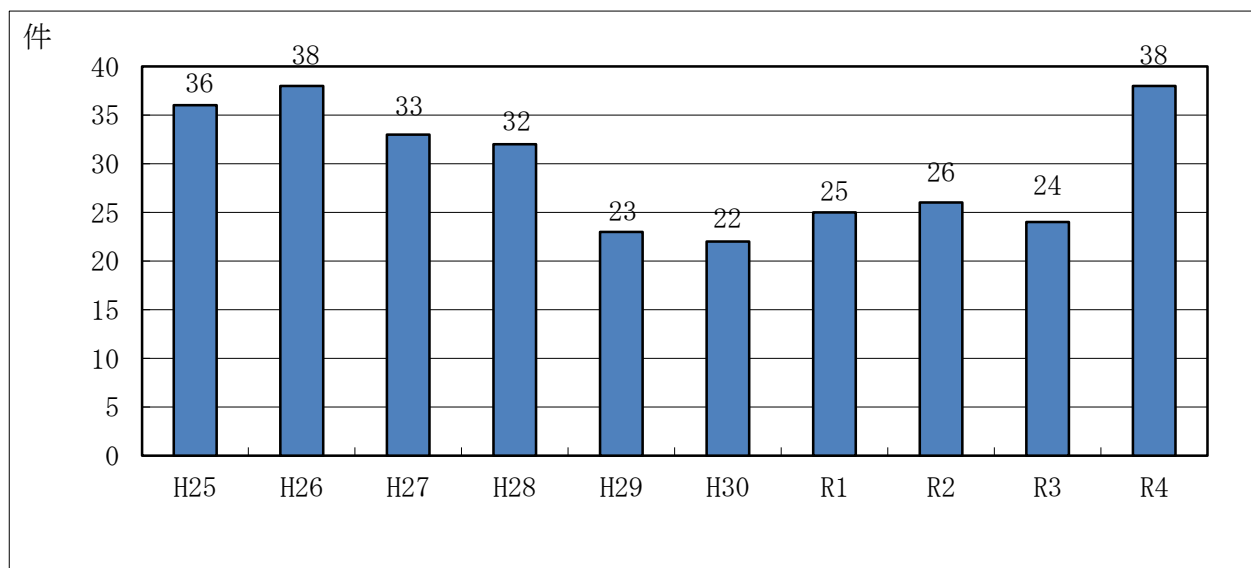
火災の概要

令和4年の火災件数は38件で、前年に比べ14件の増加となっています。

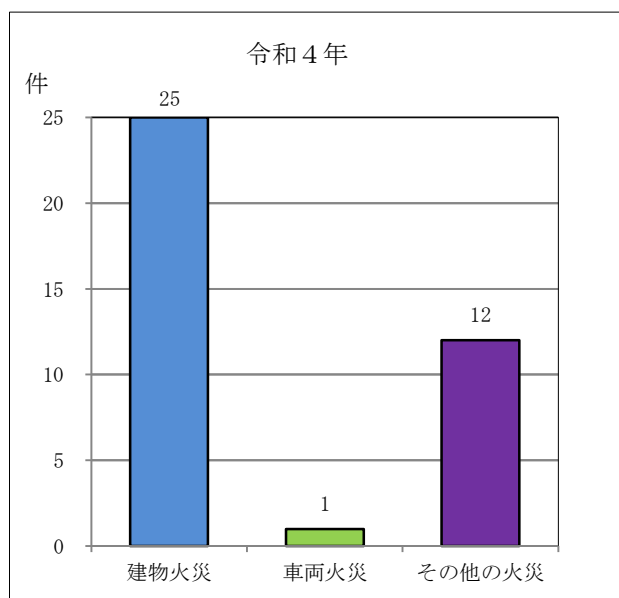
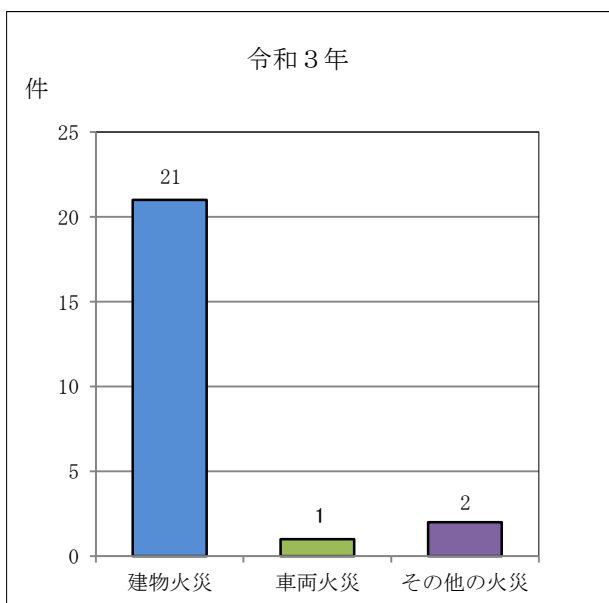
火災損害額は36,195千円で、前年に比べ32,035千円減少し、1件あたりの損害額は約953千円となっています。

死傷者については、死者2人（前年比1人増）、負傷者2人（前年比4人減）となっています。

火災件数の推移



火災種別で見ると、建物火災が25件（前年比4件増）と最も多く全体の約66%を占め、次いでその他の火災が12件（前年比10件増）で約32%、車両火災が1件（前年比増減なし）で約3%となっています。



火災発生状況前年との比較

区 分		年 別		令和4年	令和3年	増 減
		令和4年	令和3年			
火 災 件 数	建 物 火 災	25	21	4		
	林 野 火 災					
	車 両 火 災	1	1	0		
	船 舶 火 災					
	航 空 機 火 災					
	そ の 他 の 火 災	12	2	10		
	合 計	38	24	14		
損 害 額 (千円)	建 物	35,800	65,553	△ 29,753		
	林 野					
	車 両	107	1,562	△ 1,455		
	船 舶					
	航 空 機					
	そ の 他	288	1,115	△ 827		
	爆 発					
	合 計	36,195	68,230	△ 32,035		
焼 損 面 積	建 物	床 面 積 (㎡)	451	862	△ 411	
		表 面 積 (㎡)	77	11	66	
	林 野 (a)	580		580		
焼 損 車 両 台 数		1	3	△ 2		
焼 損 棟 数	全 焼	5	5	0		
	半 焼	1	2	△ 1		
	部 分 焼	9	6	3		
	ぼ や	15	14	1		
	合 計	30	27	3		
り 災 世 帯 数		11	10	1		
り 災 人 員		20	14	6		
死 者		2	1	1		
負 傷 者		2	6	△ 4		

月別火災発生状況

(令和4年)

月別 区分		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		火災 件数	建物火災	25	3	2	3	1	1	1	3		2	2
林野火災														
車両火災	1					1								
船舶火災														
航空機火災														
その他の火災	12		1	1	1	1	2	1	1			3		1
合計	38		4	3	4	3	3	2	4		2	5	1	7
損害 額(千円)	建物	35,800	472	8,772	11,005	166	9	2,897	1,015		49		12	11,403
	林野													
	車両	107		107										
	船舶													
	航空機													
	その他	288	51	74	15	8			140					
	爆発													
合計	36,195	523	8,953	11,020	174	9	2,897	1,155		49		12	11,403	
焼損 面積	建物 床面積	451		221	94	4		95	27					10
	(㎡) 表面積	77	12	38				3	2					22
	林野(a)	580		580										
焼損車両台数		1		1										
焼損 棟数	全焼	5		2	1				2					
	半焼	1						1						
	部分焼	9	2	1	1	1		1	1					2
	ぼや	15	1		2		1		2		2	2	1	4
	合計	30	3	3	4	1	1	2	5		2	2	1	6
り災世帯数		11		3	2			2	1					3
り災人員		20		4	4			5	1					6
死者		2		1	1									
負傷者		2			2									

出火原因

(令和4年)

出 火 原 因	件 数
た ば こ	2
ス ト ー ブ	2
電 気 装 置	3
電 灯・電 話 等 の 配 線	2
電 気 機 器	1
放 火	9
放 火 の 疑 い	1
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	1
火 入 れ	1
灯 火	1
配 線 器 具	2
溶 接 機 ・ 切 断 機	1
炉	1
そ の 他	11
合 計	38

初期消火状況

(令和4年)

区分	火災種別	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他 の	合 計
		火 災	火 災	火 災	火 災	火 災	火 災	
初 期 消 火 実 施		20		1			5	26
(初 期 消 火 で 鎮 火)		(13)					(2)	(15)
初 期 消 火 な し		5					7	12
火 災 件 数		25		1			12	38

原因別出火件数及び損害額

(令和4年)

月別 区別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	損害額 (千円)
たばこ		1			1								2	7,398
ストーブ												2	2	18
電気装置							1				1	1	3	211
電灯・電話等の 配線					1		1						2	14
電気機器					1								1	9
放火	4	1	1	2		1							9	692
放火の疑い										1			1	
マッチ・ライター										1			1	
火入れ												1	1	
灯火		1											1	1,552
配線器具			1									1	2	17,759
溶接機・切断機							1						1	1,134
炉			1										1	3,257
その他			1	1		1	1		2	3		2	11	4,151
合計	4	3	4	3	3	2	4		2	5	1	7	38	36,195

救 急

救急体制

当市の救急業務は、昭和38年4月26日高砂ロータリークラブから救急車の寄贈を受けて開始して以来、年々高まる救急需要に適宜対応し、救急体制の整備を図ってきました。また、平成22年10月から高砂西部地域の救急体制を強化するため、北浜救急ステーションを開設（平日昼間）し、現在では専任救急隊2隊、兼任救急隊1隊、北浜ステーション隊1隊の4隊体制となっています。

平成3年の救急救命士法施行以来、平成15年に包括的指示下での除細動、平成16年に気管挿管、また、平成18年には薬剤投与、平成26年4月から心肺機能停止前の静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与について救急救命士の処置範囲が拡大されました。

これらに対応すべく医療機関との更なる連携、高度救命処置用資機材の整備、また救急隊員の再教育(病院実習等)等救急業務の高度化を図ることにより、市民の救急に対するニーズに応じています。

(令和5年4月1日現在)

救 急 車 数	4台
救 急 隊 員 数	専任23人 ・ 兼任10人
救 急 救 命 士	37人
気管挿管認定救急救命士	30人
薬剤投与認定救急救命士	30人
拡大二行為認定救命士	26人

救急医療体制

夜間の救急医療体制については、昭和55年4月に東播磨2市2町（加古川市・高砂市・稲美町及び播磨町）並びに高砂市医師会と加古川市加古郡医師会で財団法人東播磨臨海救急医療協議会を設立し、内科及び小児科の診療体制で年間を通じて、内科及び小児科を午後9時から午前6時まで、「東はりま夜間休日応急診療センター」において、初期救急医療に対応するとともに外科及び2次救急については、東播第2次救急病院協議会に加盟している10病院の輪番制で対応しています。また、県立加古川病院が、平成21年11月から県立加古川医療センター・救命救急センターとして、地域の3次救急医療を担っています。

小児2次救急については、平成12年の4月から東播磨3市2町（明石市・加古川市・高砂市・稲美町及び播磨町）の指定病院で対応しています。

また、休日及び年末年始については、高砂市医師会が午前9時から午後6時までの間、内科及び外科の診療を会員の在宅当番制で実施しています。

救急の概要

令和4年の救急出動件数は、4,591件で前年に比べ683件増加し、傷病者搬送人員は3,903人で456人増加しており、出動件数及び搬送人員ともに増加となっています。

これは1日平均12.6件出動したこととなり、市民22.6人に1人を救急車で医療機関へ搬送したことになります。

事故種別では、急病が3,075件（547件増）と最も多く全体の67.0%を占め、次いで一般負傷が690件（105件増）15.0%、転院搬送が366件（2件増）8.0%となっています。

傷病程度別搬送人員は、軽症が1,670人（278人増）42.8%を占め、中等症は1,978人（215人増）と最も多く全体の50.7%、重症は210人（18人減）5.4%、死亡は45人（19人減）1.2%となっています。

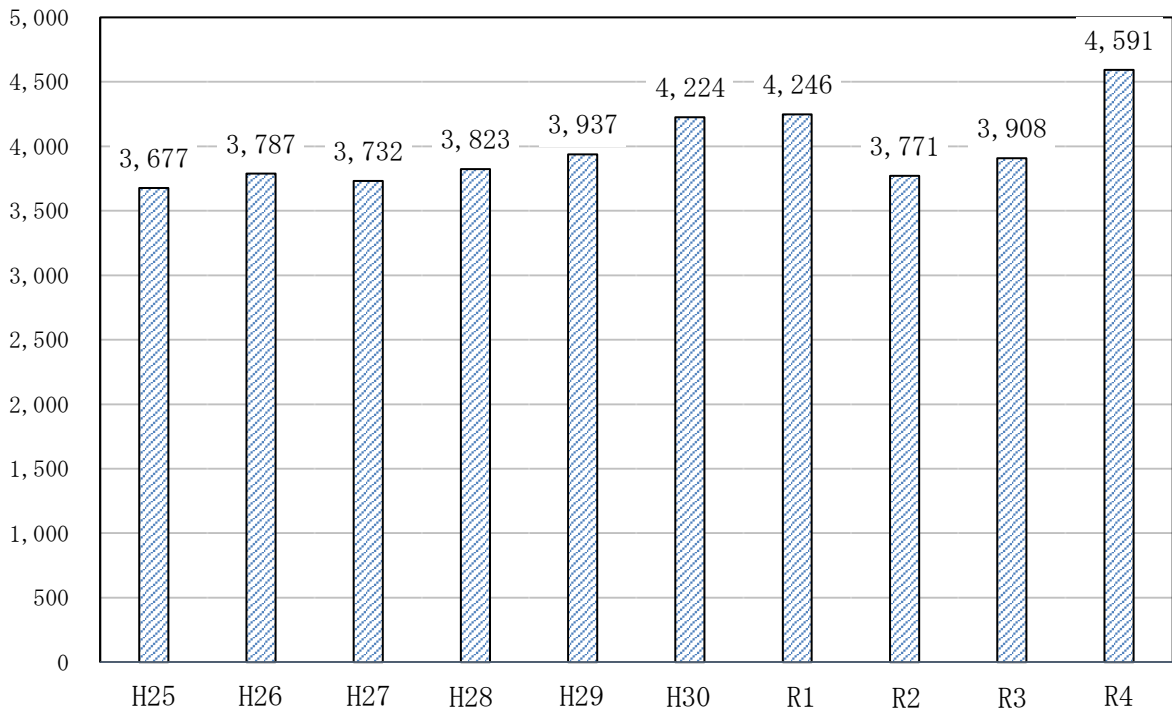
(令和4年)

区 分		救急出動件数	比 率	搬送人員
合 計		4,591	100.0%	3,903
救 急 事 故 種 別	火 災	13	0.28%	4
	自 然 災 害			
	水 難 事 故	3	0.07%	2
	交 通 事 故	276	6.01%	237
	労 働 災 害	37	0.81%	36
	運 動 競 技	24	0.52%	24
	一 般 負 傷	690	15.03%	607
	加 害	11	0.24%	6
	自 損 行 為	27	0.59%	19
	急 病	3,075	66.98%	2,604
	そ の 他	転院搬送	366	7.97%
医師搬送				
資機材等輸送				
そ の 他		69	1.50%	

救急出動状況

区分 年別	合計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	搬送人員	人口
	平成25年	3,677	3		2	426	40	27	495	14	30	2,365	275	3,360
平成26年	3,787	3		5	414	33	26	534	22	38	2,455	257	3,487	93,818
平成27年	3,732	10	2	6	396	26	22	538	27	18	2,375	312	3,462	93,357
平成28年	3,823	12	1	4	394	29	38	532	27	25	2,434	327	3,510	92,770
平成29年	3,937	11		1	389	37	25	565	20	33	2,542	314	3,602	92,020
平成30年	4,224	8		2	384	44	24	535	14	31	2,838	344	3,867	91,159
令和元年	4,246	7		5	379	49	22	602	12	39	2,739	392	3,847	90,462
令和2年	3,771	9	1	4	299	47	16	564	17	40	2,436	338	3,392	89,762
令和3年	3,908	17		4	270	36	27	585	9	33	2,528	399	3,447	88,968
令和4年	4,591	13		3	276	37	24	690	11	27	3,075	435	3,903	88,395

件



救急出動状況前年との比較

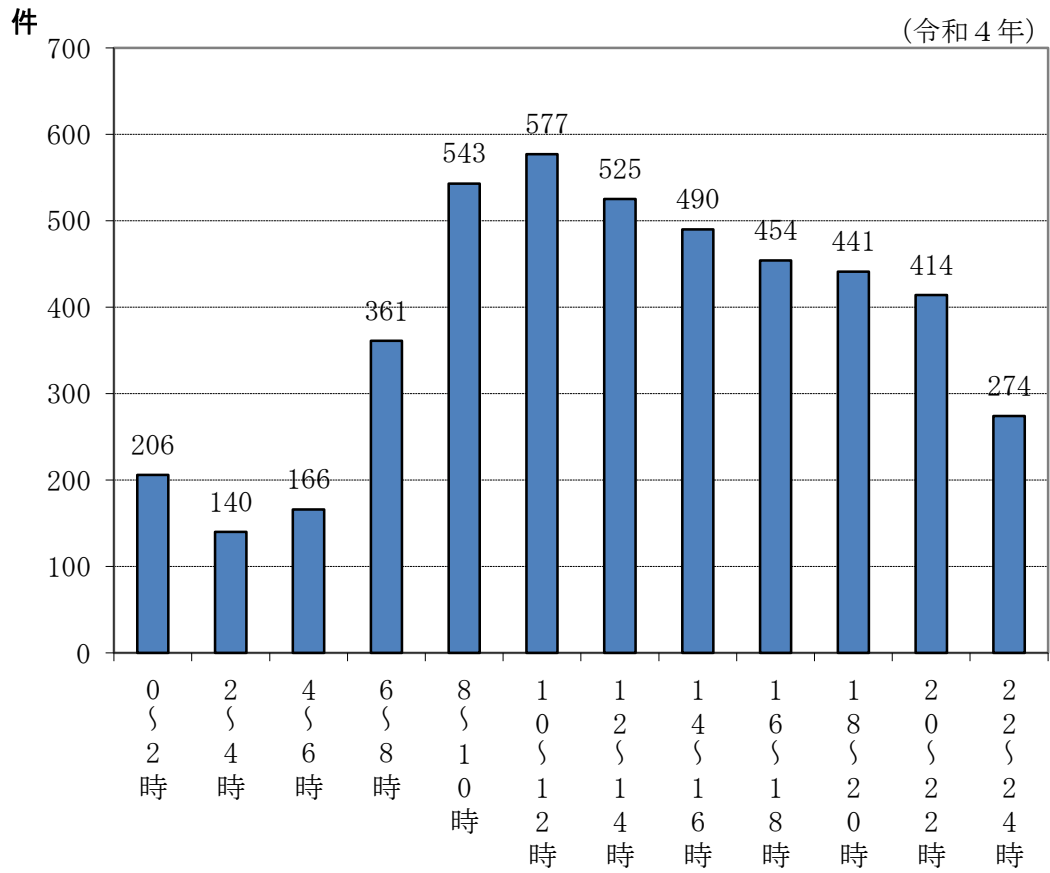
区 分		年 別	令和4年	令和3年	増 減	
合 計			4,591	3,908	683	
救 急 事 故 種 別	火 災		13	17	△ 4	
	自 然 災 害					
	水 難 事 故		3	4	△ 1	
	交 通 事 故		276	270	6	
	労 働 災 害		37	36	1	
	運 動 競 技		24	27	△ 3	
	一 般 負 傷		690	585	105	
	加 害		11	9	2	
	自 損 行 為		27	33	△ 6	
	急 病		3,075	2,528	547	
	そ の 他	転 院 搬 送		366	364	2
		医 師 搬 送			1	△ 1
		資 機 材 等 輸 送				
		そ の 他		69	34	35
不 搬 送 件 数			705	475	230	
搬 送 人 員			3,903	3,447	456	
傷 病 程 度	死 亡		45	64	△ 19	
	重 症		210	228	△ 18	
	中 等 症		1,978	1,763	215	
	軽 症		1,670	1,392	278	
	そ の 他					

月別救急出動件数

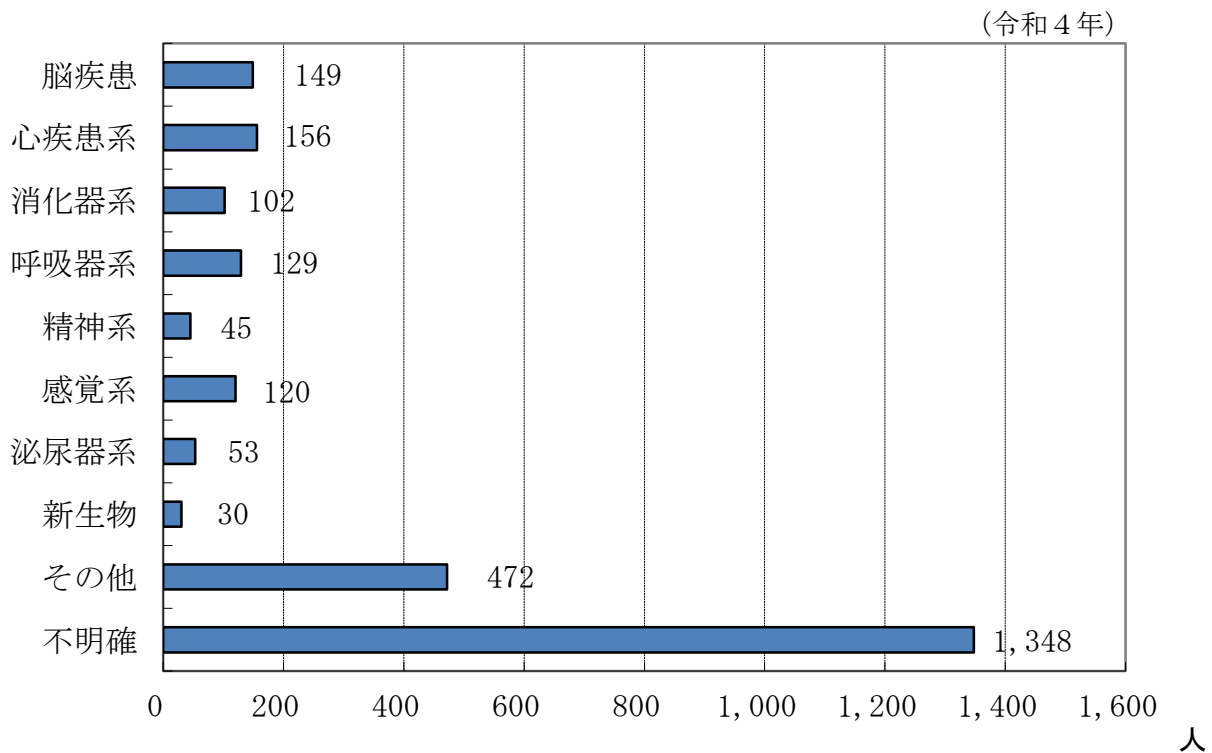
(令和4年)

月別 区分		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		合計	4,591	374	354	343	360	333	348	437	482	392	389	355
救急 事故 種 別	火災	13		1	4	2			2			1		3
	自然災害													
	水難事故	3							1		1	1		
	交通事故	276	29	22	15	17	20	33	14	26	18	28	24	30
	労働災害	37	2	2	1	7		3	6	3	4	4	3	2
	運動競技	24	1				2	5	4	2	6		4	
	一般負傷	690	50	51	48	59	55	61	56	57	48	64	65	76
	加害	11	1	1			1		3			4		1
	自損行為	27		5	5	1	1	3		2	3	6	1	
	急病	3,075	249	236	239	228	227	214	319	347	276	240	227	273
	その他	転院搬送	366	31	32	25	39	23	25	27	39	32	39	23
医師搬送														
資機材等輸送														
その他		69	11	4	6	7	4	4	5	6	4	2	8	8
不搬送件数		705	52	54	41	50	45	38	81	102	67	49	59	67
搬送人員		3,903	325	300	304	312	288	310	357	380	326	343	298	360
傷病 程 度	死亡	45	3	6	6	3	4		3	1	2	4	5	8
	重症	210	16	23	16	13	19	14	13	23	14	28	11	20
	中等症	1,978	175	153	170	169	144	159	188	183	159	140	158	180
	軽症	1,670	131	118	112	127	121	137	153	173	151	171	124	152
	その他													

時間別救急出動件数



急病にかかる疾病分類別搬送人員



現場到着所要時間別出動件数

現場到着所要時間別出動状況は、5分以上10分未満が3,361件と最も多く全体の73.2%を占めている。なお、現場到着平均所要時間は7分10秒である。

(令和4年)

時間 区分	合計	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上
合計	4,591	57	664	3,361	498	11
急病	3,075	24	404	2,294	346	7
交通事故	276	5	46	183	39	3
一般負傷	690	10	93	523	64	
上記以外	550	18	121	361	49	1

病院収容所要時間別搬送人員状況

病院収容所要時間別の搬送人員は、30分以上60分未満が2,522件と最も多く全体の64.6%を占めている。

(令和4年)

時間 区分	合計	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	病院到着 平均所要時間
合計	3,903	84	999	2,522	274	24	38分26秒
急病	2,604	45	571	1,784	184	20	39分19秒
交通事故	237	15	69	139	12	2	36分39秒
一般負傷	607	8	143	402	52	2	39分25秒
上記以外	455	16	216	197	26		33分00秒

応急処置等の実施状況

(令和4年)

区 分	事故種別					合 計
	急 病	交通事故	一般負傷	左記以外		
応急処置対象搬送人員	2,604	237	606	453	3,900	
止 血	14	10	31	9	64	
固 定	9	55	25	6	95	
人 工 呼 吸	7			1	8	
心 肺 蘇 生	60	1	2	6	69	
酸 素 吸 入	463	20	21	107	611	
気 道 確 保	74	1	3	7	85	
うち経鼻エアウェイ ※1	3				3	
うち喉頭鏡、鉗子 ※2	1		1		2	
うちラリングアルマスク等 ※3	33		1	1	35	
うち気管挿管 ※4	3		1		4	
保 温	18	5	5	3	31	
被 覆	16	36	103	29	184	
在 宅 療 法 継 続	31		2	1	34	
除 細 動	6			1	7	
静脈路確保(輸液)※5	24	4	1	1	30	
薬 剤 投 与	7		1		8	
血 糖 測 定	14	1			15	
ブ ド ウ 糖 投 与	5				5	
血 圧 測 定	2,439	233	560	441	3,673	
心 音・呼 吸 音 聴 取	1,105	88	178	140	1,511	
血 中 酸 素 飽 和 度 測 定	2,541	234	601	444	3,820	
心 電 図	1,164	39	71	165	1,439	
合 計	7,997	727	1,604	1,361	11,689	

※1 経鼻エアウェイを使用して気道確保を行った数を内数として記載

※2 喉頭鏡・鉗子等により異物除去を行った数を内数として記載

※3 救急救命士がラリングアルマスク等を使用して気道確保を行った数を内数として記載

※4 救急救命士が気管挿管処置を実施して気道確保を行った数を内数として記載

※5 心肺機能停止時、心肺機能停止前及びブドウ糖投与のための静脈路確保の成功件数

救急講習会実施状況

区 分	令和2年		令和3年		令和4年	
	回 数	人 数	回 数	人 数	回数	人 数
一 般 救 急 講 習 会	7	151	19	299	28	531
普 通 救 命 講 習 会	1	12	12	102	8	76
上 級 救 命 講 習 会			1	10	1	8
応 急 手 当 普 及 員 講 習 I			1	5		
ジ ュ ニ ア 救 命 士 認 定 講 習			3	221	6	502
計	8	163	36	637	43	1,117

救 助

救助体制

火災、交通事故及び労災事故等の救助事案に対応する救助体制については、当市では長い間事故種別に応じて救急隊と消防隊が協力して、わずかな救助器具を活用して対応していました。

しかし、昭和61年には消防法の一部改正で救助隊の設置が義務づけられたこと、さらに管内で発生する救助事案も年々複雑化し、従来の対応では困難を生じてきたため、専門的な救助技術を有する救助隊の編成・配備が急務となってきました。

そこで平成元年に近隣各市等の協力を得て救助隊員の養成を開始し、平成2年8月に高砂市消防救助隊を隊長以下15名で発足させ、さらに平成3年には、省令第2条の基準に定められた救助器具を積載した救助工作車を購入・配備して本格的な活動を開始しました。

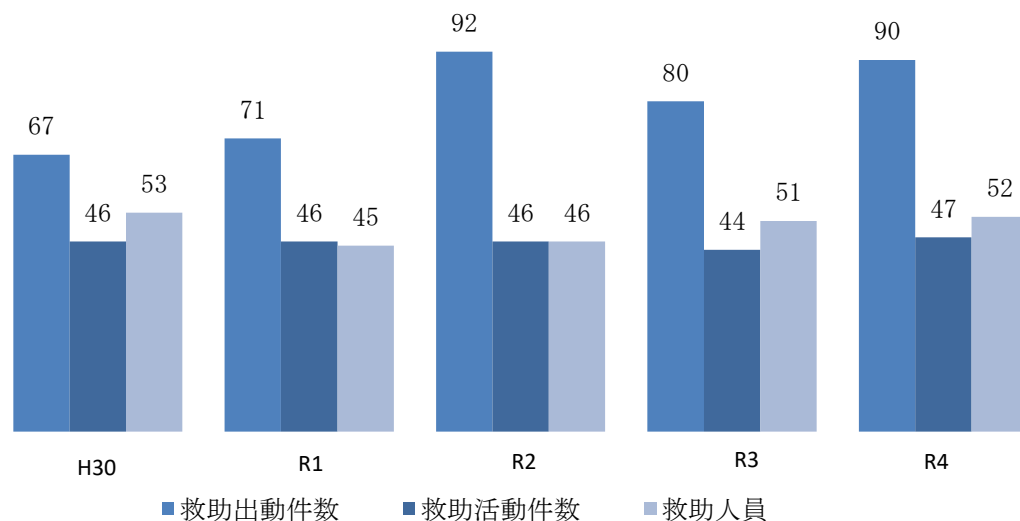
さらに、平成19年には救助工作車を更新し、大規模災害において迅速・的確な人命救助活動を可能とするため必要な資機材を整備しています。

救助の概要

令和4年中の救助出動件数は90件で、前年に比べ10件増加し、救助活動件数は47件で前年に比べ3件増加しています。救助人員は、52人で前年に比べ1人増加しています。

出動件数等の推移

区 分	年 別				
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
救助出動件数	67	71	92	80	90
救助活動件数	46	46	46	44	47
救助人員	53	45	46	51	52



救助出動状況前年との比較

区 分		年 別		増 減
		令和4年	令和3年	
出 動 件 数		90	80	10
活 動 件 数		47	44	3
救 助 人 員		52	51	1
事 故 種 別	火 災	1	1	0
	交 通 事 故	13	13	0
	水 難 事 故	4	2	2
	自 然 災 害			
	機 械 事 故	1		1
	建物等による事故	22	25	△ 3
	ガス・酸欠事故	2	1	1
	破 裂 事 故			
	そ の 他 の 事 故	47	38	9
傷 病 程 度	死 亡	19	14	5
	重 症	3	6	△ 3
	中 等 症	13	15	△ 2
	軽 症	10	8	2
	そ の 他	7	8	△ 1

月別救助出動件数

(令和4年)

月 別	種 別	総 数	種 別								
			火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス ・ 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
1 月		5		1				2			2
2 月		7		2				3			2
3 月		4						1			3
4 月		7							1		6
5 月		8			1			1			6
6 月		8		2				2			4
7 月		11		2	1			2	1		5
8 月		13		1				5			7
9 月		6			1			2			3
10 月		4		1	1			1			1
11 月		8		2			1				5
12 月		9	1	2				3			3
合 計		90	1	13	4		1	22	2		47

救助種別及び傷病程度

(令和4年)

種別 区分		総 数	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス ・ 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
出動件数		90	1	13	4		1	22	2		47
活動件数		47	1	6	3		1	22	1		13
救助人員		52	1	9	3		1	22	1		15
傷病程度	死 亡	19	1	2	2			14			
	重 症	3		1							2
	中 等 症	13		2	1		1	6	1		2
	軽 症	10		3				2			5
	そ の 他	7		1							6
	合 計	52	1	9	3		1	22	1		15

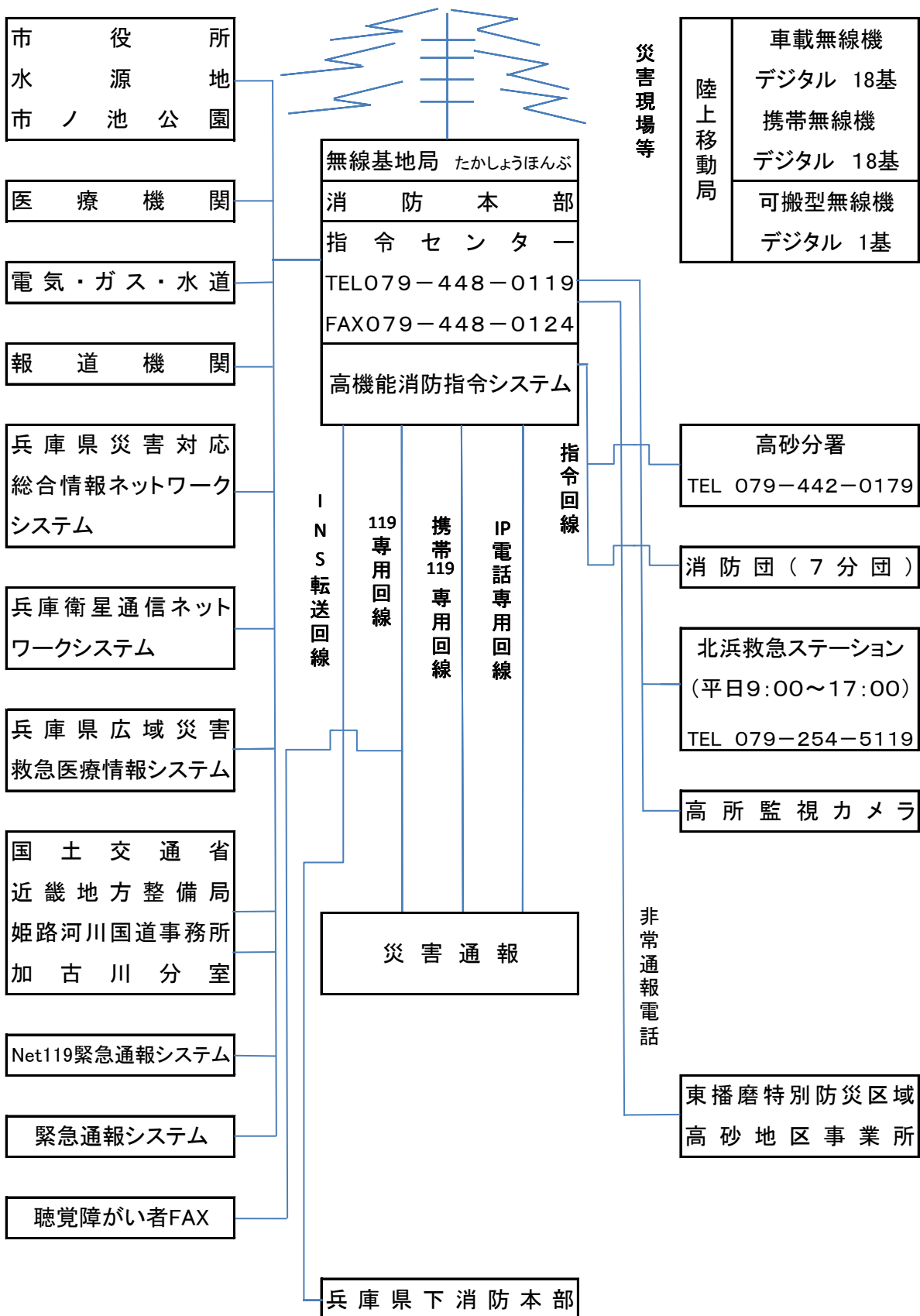
発生場所別出動件数

(令和4年)

種別 区分		総 数	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス ・ 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
屋 内	住 居	54	1					22			31
	そ の 他 の 屋 内	2					1		1		
屋 外	道 路	11		9							2
	水 面	内 水 面	3			3					
		外 水 面	1			1					
	山 岳	10									10
そ の 他 の 屋 外		7		2					1		4
そ の 他		2		2							
合 計		90	1	13	4		1	22	2		47

管制

消防通信系統図



指令センター

近年の都市構造の変化・情報の高度化・高齢化社会及び広域防災に対する対応力の強化などが問われているなか、市民の安全で快適な暮らしを守ることを基本目標に、先端技術を駆使した高機能消防指令システムの導入を図り、平成26年3月29日から運用開始しています。

指令電送装置・消防職員／消防団指令システム

地震、火災等は迅速な対応が求められるため、指令台と連動しEメールにより消防職員、消防団員の携帯電話に災害情報を送るもので、平成26年3月29日から運用を開始しています。

兵庫県災害対応総合情報ネットワークシステム（フェニックス防災システム）

阪神・淡路大震災の教訓をふまえ、光ファイバーケーブルにより、県・市町・消防本部及び関係機関に設置された防災ワークステーションと直結しています。

県下市町に設置されている地震計等からの情報収集とその解析により、迅速・的確な応急対応が可能で、平成8年9月25日から県下一斉に運用を開始しています。

兵庫衛星通信ネットワークシステム（衛星アンテナ・衛星端局・防災電話・防災FAX）

このシステムは、地上の災害による影響を受けないので停電やケーブルの断線等による通信途絶の心配がなく、防災情報等の収集及び伝達が的確にでき、災害に対して迅速な対応ができます。

高砂市も災害の未然防止、災害の軽減を図るため平成5年4月から運用を開始しています。

兵庫県広域災害・救急医療情報システム

阪神・淡路大震災の教訓をふまえ、大規模災害に対応できるよう、災害時における医療の情報及び平時における救急医療の情報提供を行います。また平成21年4月から新システムの更新に伴い、患者の重症度（一定の基準）に応じて複数の医療機関に一斉に搬送要請を行い、医療機関から応需可否情報を受けるとによって、早期に受入医療機関を確保するものです。

Net119緊急通報システム

聴覚や言語機能に障がいがあり、音声による緊急通報が困難な方が円滑に消防への通報を行えるようにするシステムです。携帯電話やスマートフォンのWeb（インターネット）機能を通して、簡単な操作で119番通報ができます。令和2年12月から運用を開始しています。

緊急通報システム

一人暮らしの高齢者が急病等に見舞われた際、「119番」のダイヤルを回すことなくワンタッチ操作により緊急通報受信センターに緊急事態を通報することができるシステムです。平成3年11月1日から運用を開始しています。

聴覚障がい者FAX

聴覚や言語機能に障がいがあり、音声による緊急通報が困難な方が利用できるように、高砂市消防本部指令センターに緊急通報受信専用ファクシミリを設置し、平成11年7月1日から運用を開始しています。

非常通報電話

石油コンビナート等災害防止法に基づく東播磨特別防災区域高砂地区協議会の会員事業所6社と消防本部とを直結した通報専用回線で、災害発生時にはワンタッチで連絡することができるもので、平成5年9月1日から運用を開始しています。

緊急情報ネットワークシステム（Em-Net）

このシステムは、行政用専用回線（LGWAN）で都道府県・市区町村に対して、端末PCへ強制的にメッセージが着信、アラームが鳴り、警報や避難措置などの国民保護法に基づく法定通知文書を配信するためのもので、平成21年8月31日から運用を開始しています。

通信・気象

119番受付件数

(令和4年)

月	区分	災 害				試 験	問 い 合 わ せ	い た ず ら	間 違 い	そ の 他	計
		火 災	救 急	救 助	そ の 他						
1	専 用	1	176	1		18	23		2	21	242
	携 帯	1	181	2	3	1	72		7	41	308
	小 計	2	357	3	3	19	95		9	62	550
2	専 用	2	157			17	15		4	21	216
	携 帯	4	161	5		12	59		12	82	335
	小 計	6	318	5		29	74		16	103	551
3	専 用		138	1		23	20		7	21	210
	携 帯	2	174	3	2	1	40		10	42	274
	小 計	2	312	4	2	24	60		17	63	484
4	専 用		161	1	1	19	21		3	30	236
	携 帯	3	181	5	3	1	59		7	45	304
	小 計	3	342	6	4	20	80		10	75	540
5	専 用		138	1		20	15		1	30	205
	携 帯	3	162	2	3		46	1	3	42	262
	小 計	3	300	3	3	20	61	1	4	72	467
6	専 用	2	144	1	1	13	13		1	30	205
	携 帯	1	182	4	2	2	44	1	11	30	277
	小 計	3	326	5	3	15	57	1	12	60	482
7	専 用	1	187		1	16	29		7	25	266
	携 帯	2	222	6	1	1	88		14	43	377
	小 計	3	409	6	2	17	117		21	68	643
8	専 用		184	1	1	10	33		3	21	253
	携 帯		261	9	2		88		10	52	422
	小 計		445	10	3	10	121		13	73	675
9	専 用	1	152			19	22		2	30	226
	携 帯	1	203	3	5		50		11	56	329
	小 計	2	355	3	5	19	72		13	86	555
10	専 用		167	1		20	21		6	27	242
	携 帯	3	202	3	5		56		9	24	302
	小 計	3	369	4	5	20	77		15	51	544
11	専 用	1	140			30	16	1	1	25	214
	携 帯		198	5	2	1	48		10	37	301
	小 計	1	338	5	2	31	64	1	11	62	515
12	専 用	2	160	1	4	12	24		2	22	227
	携 帯	2	230	4	1		77	1	11	59	385
	小 計	4	390	5	5	12	101	1	13	81	612
合計	専 用	10	1,904	8	8	217	252	1	39	303	2,742
	携 帯	22	2,357	51	29	19	727	3	115	553	3,876
	小 計	32	4,261	59	37	236	979	4	154	856	6,618

※ 専用 = IP電話を含む、携帯 = 転送を含む

気象状況

(令和4年)

月別	風向	風速 (m/s)		気温 (°C)			湿度 (%)			雨量 (mm)		
	最多風向頻度 (%)	最大瞬間風速	平均風速	最高気温	最低気温	平均気温	最高湿度	最低湿度	平均湿度	降(日雨最大量)	積算降雨量	降雨日数
1	22.6 西北西	18.7 西北西	2.3	13.3	-2.3	4.5	93.3	30.9	65.5	7.5	9.0	2
2	28.7 西北西	17.9 西	2.8	13.3	-3.5	4.2	94.3	23.0	60.7	9.5	14.0	2
3	21.8 北東	18.4 北東	2.2	20.3	-0.4	10.1	99.9	28.6	68.1	26.0	63.5	8
4	25.9 北東	18.9 東北東	2.3	25.0	3.2	15.3	99.9	19.0	65.6	30.0	91.5	7
5	24.3 北東	15.6 西北西	2.0	29.4	6.4	18.8	99.9	17.3	67.9	16.5	60.0	9
6	22.9 北東	15.7 南南東	2.2	33.0	13.1	23.3	99.9	24.5	76.6	15.5	57.0	7
7	18.7 北東	14.7 北西	2.3	34.4	21.6	27.6	99.9	49.1	79.3	62.5	136.0	12
8	19.4 北東	17.8 北西	2.4	34.2	19.9	28.5	99.9	43.9	79.1	36.0	85.5	11
9	31.8 北東	32.4 南南東	2.8	34.8	16.4	25.6	99.9	40.5	74.3	74.0	133.5	7
10	25.9 北東	15.9 北東	2.1	29.1	7.9	18.1	99.9	29.4	71.4	33.0	78.0	7
11	30.2 北東	13.6 北東	1.9	22.5	5.6	14.2	99.9	34.6	74.5	35.0	74.0	7
12	36.1 西北西	18.4 北西	2.7	15.4	-2.2	6.0	96.9	28.6	64.6	3.0	9.0	4
年間	22.0 北東	32.4 南南東	2.3	34.8	-3.5	16.4	99.9	17.3	70.6	74.0	811.0	83

※ 高砂市消防本部（高砂市伊保4丁目）観測データ

施設・装備

消防水利の現況

(令和5年4月1日現在)

地区 \ 水利	防火水槽	井戸	プール	消火栓	合計
高砂	14		5	219	238
荒井	21		2	280	303
伊保	15		2	433	450
中筋	7		2	133	142
曾根	10		3	253	266
米田	13	3	3	340	359
阿弥陀	24		2	280	306
北浜	9		1	137	147
合計	113	3	20	2,075	2,211

消防車両一覧

(令和5年4月1日現在)

配備先	配備車両	ポンプ性能	排気量(CC)	登録年月日
消防本部	査察兼広報車(軽)		650	H29. 5. 26
	連絡車		1,330	H18. 5. 30
	連絡車(軽四)		650	H28. 10. 18
	支援車		2,730	H17. 1. 11
	物資搬送車		1,780	H15. 2. 25
	物資搬送車(ダンプ)		4,000	H29. 1. 12
消防署	普通消防ポンプ自動車(CD-I型)	A-2	4,000	H22. 12. 15
	梯子付消防自動車(30m級)		10,520	H18. 2. 23
	水槽付普通消防ポンプ自動車(I-A型)	A-2	6,400	H17. 3. 7
	大型化学消防ポンプ自動車(大I型)	A-1	10,520	H13. 3. 19
	泡原液搬送車		7,960	H15. 3. 17
	救助工作車(II型)		6,400	H19. 1. 26
	救急車(高規格車)		2,690	R3. 1. 12
	救急車(高規格車)		2,690	H25. 1. 29
	救急車(高規格車)		2,690	H22. 6. 18
	指揮車		2,690	H23. 1. 25
	資機材搬送車		7,160	H16. 3. 11
高砂分署	普通消防ポンプ自動車(CD-I型)	A-2	4,890	H11. 10. 28
	災害対応特殊化学消防ポンプ自動車(I型)	A-2	5,120	H30. 3. 15
	救急車(高規格車)		2,690	H28. 12. 19

主な消防機械器具の状況

(令和5年4月1日現在)

資 機 材 名		数 量	資 機 材 名		数 量	
放水器具	消防用ホース（75mm）	12	救助器具	熱画像直視装置	1	
	消防用ホース（65mm）	223		水中通話装置一式	1	
	消防用ホース（50mm）	279		潜水器具一式	8	
	消防用ホース（40mm）	19		救命ボート	5	
	小型動力消防ポンプ（B-2級）	3		救助用三脚	1	
	小型動力消防ポンプ（C-1級）	2		油圧ジャッキ	12	
	放水砲	2		簡易画像探査装置	1	
	ラインプロポーションナー	2		救助用支柱器具	1	
	高発泡器	4		測定器具	可燃性ガス測定器	3
	組立式簡易水槽	6			放射線測定器	5
ジェットシューター	13	ポケット線量計	21			
救助器具（救急工作車積載分）	かぎ付はしご	1	隊員保護具	空気呼吸器	29	
	三連はしご	1		耐電衣	7	
	救命索発射銃	1		化学防護服A	3	
	サバイバースリング	1		化学防護服B・C	65	
	救助用縛帯	1		耐熱防火衣	6	
	エンジンカッター	1		放射能防護服	3	
	チェーンソー	1	救急器具	高圧蒸気滅菌器	2	
	バスケット型担架	1		オゾン水生成装置	2	
	可搬式ウインチ	1		オゾンガス生成装置	2	
	積載分	油圧式カッター	2	照明器具	携帯用発動発電機	14
油圧式スプレッダー		1	コードリール		10	
空気式マット型ジャッキ		1	三脚付投光器		9	
ハンマードリル		1	その他	エアータント	2	
送排風機	1	インパルス銃		2		
携帯用破壊器具	1	高圧空気圧縮機		1		

水 防

事前調査

5月24日 市内要注意箇所調査

活動

(令和4年)

月 日	内 容	消防活動状況
9月6日	台風11号に伴う警戒活動	強風による飛散防止及び飛散物撤去
9月18～20日	台風14号に伴う水防活動	危険箇所の調査を実施 強風による飛散防止及び飛散物撤去 土のう配布 (調査2回、パトロール3回、現場対応5件)